

男女共同参画の深化を求めて、
様々な取り組みを行っています。

男女共同参画の推進にあたって、京都大学は、男女共同参画推進本部・推進センターを軸にして、基盤整備の拡充を進めるとともに、女性リーダーの育成、家庭生活との両立支援、次世代育成支援という三つの重点目標を設定し、本学における男女共同参画の一層の深化を進めています。男女共同参画推進センターは、5つのワーキンググループを設置し、推進活動を行っています。

3つの重点目標

女性
リーダーの
育成

次世代
育成支援

家庭生活
との
両立支援

5つのワーキンググループ

1 / 広報・相談・社会連携事業

2 / 育児・介護支援事業

3 / 病児保育事業

4 / 就労支援事業

5 / 教育支援事業

ACCESS

606-8303 京都市左京区吉田橋町



入口は駒小路通沿いにあります。(医学部構内からは入れません)

京都大学男女共同参画推進センター

075-753-2437

w-shien@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

病児保育室申込み

075-751-3090

byojih@kuhp.kyoto-u.ac.jp

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp>



たちばな基金

TACHIBANA FUND

お問い合わせ・
ご支援はこちら



<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/contribution/tachibana/>



京都大学 男女共同参画 推進センター

KYOTO UNIVERSITY
GENDER EQUALITY
PROMOTION CENTER

やりたいこと、あきらめない。



京都大学男女共同参画支援
たちばな基金
TACHIBANA FUND



Greeting

ご挨拶

グローバルに広がる世界のなかで、
ジェンダー平等やダイバーシティは
ますます重要になっています。

大きな視野と展望をもって、

多様な生きかたや新しい

価値の創造に貢献できる大学として、

教職員・学生共に推進していきます。

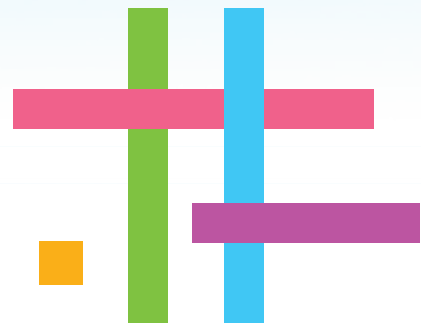
理事・副学長 稲垣 恭子



TACHIBANA FUND

公平な研究活動を支援するために、
基金を設立しました。

京都大学男女共同参画支援 たちばな基金



TACHIBANA FUND

やりたいこと、あきらめない。

創造的かつ人類の幸福に資する学問の持続的な発展に必要な多様性を確保するためには、女性と男性が公平に研究活動を行えるような環境をつくり出すことが重要です。育児や介護等によってやりたい研究をあきらめることがないように、京都大学男女共同参画推進センターでは、待機乳児や病児保育のための施設を設置しているほか、育児・介護中の男女研究者のための研究・実験補助者雇用制度等の施策を実施しています。こうした男女共同参画を推進するための各種事業を行っているものの、京都大学ではいまだに女性教員の比率が1割程度に留まっています。そのため男女共同参画推進のための施策を一層充実させる必要がありますが、予算を十分に確保できていない状況です。育児・介護中の研究者への支援制度では、希望者の5割にしか支援できていません。男女共同参画推進センターでは、育児・介護等、その心配を理由に、学生が進学や研究者になることをあきらめたり、研究者が研究を縮小・中断・断念したりすることがなくなってほしいと願っています。本基金を活用して各種支援・啓発事業を充実させることで、“女性も男性も”安心して学業・研究に取り組める環境をつくります。皆様のご支援をお待ちしています。

"女性も男性も"安心して学業、研究に取り組める環境を作ります！

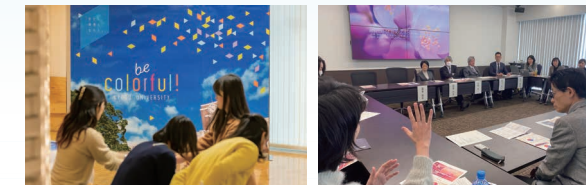
1 男女共同参画に向けた 取り組みの周知・浸透。

広報・相談 社会連携

女子高生や研究者を対象にしたイベントや広報誌のより一層の充実を図ります。また男女共同参画理念の浸透、優秀な女子学生の獲得、そして女性研究者の環境改善に向けた取り組みを推進します。



- シンポジウム・フォーラム
女子高生・車座フォーラム
日経ウーマノミクスフォーラム



2 仕事の復帰につながる 育児・介護の諸問題の解消。

育児介護支援

早朝の開室時間拡張、保育室の増設による入所定員の増員、15か月未満の月齢制限の緩和など、要望が多い諸問題の解消に取り組みます。



- 保育園入園待機乳児の保育室

3 病気の子供を安心して 預けられる体制づくり。

病児保育

定員や年齢上限などの制限を緩和し、希望する人いつでも受入可能といった体制の拡充を目指します。



- 病児保育室「こもも」

4 少しでも多くの 研究者の研究継続。

就労支援

多くの問題を抱えた研究者の採択率をアップすることで、女性・男性を問わず、本制度を利用した研究の継続を可能とします。

- 研究支援
研究・実験補助者雇用制度
雇用経費支援制度

5 ジェンダーと男女共同参画に 関する教育に貢献。

教育支援

本学の学生を対象とした正規の授業の提供などにより、本学における性別(ジェンダー)と男女共同参画に関する教育に貢献し、私的な人間関係の中で、また責任ある組織人や社会人として、男女共同参画に取り組んでいける人材を育成します。

- 性差・ジェンダーに関する講座
ILASセミナー
全学共通科目「ジェンダー論」

